

武蔵野東学園 連合後援会だより



発行：武蔵野東学園連合後援会だより編集委員会
新 28 号
平成 18 年 3 月 9 日発行

各園校副会長からのメッセージ

幼・小・中・高等専修 後援会副会長から	1 頁
高等専修むらさき会代表から	2 項
レポート	
むらさき新年会に参加して	2 頁
幼稚園発表会／小・中発表会	2 頁

卒園にむけて

幼稚園副会長 山根朋子
発表会も盛況のうちに終わり、いよいよ卒園を迎えることとなりました。今年度より卒園式は、幼稚園での二部制となります。幼稚園にとっても保護者にとっても初めての試みで、当初は不安の声もありましたが、幼稚園での卒園式だからこそ出来る温かく厳かな式となる様、子供たちも練習に励んでいます。思えば年少の頃、自分の事で精一杯だった我が子も、園での様々な経験や自閉症のお友だちとの交流を通して周りが見えるようになり、心も体も逞しく成長したと感じます。私自身も園に行く度に、飾ってある作品や子供たちの笑顔にパワーをもらい子供と共に成長させて頂きました。今後、園児の笑顔に会えなくなるのは寂しく感じますが、後援会活動にご協力頂いた先生方、保護者の皆様に深く感謝し、幼稚園の益々のご発展をお祈り申し上げます。

ありがとうございます！東幼稚園！！

卒業にあたって

小学校副会長 渡辺恵美子
下の子が小学校に入学したとき、後援会の五役を引き受けました。月並みな言葉ですが、あっという間の6年間で、昨年度までは、主に小学校

の旧口ビー（現1～4年生昇降口）で会議や作業をしていました。そこは子供たちの普段の姿をとて身近に感じられる場所でした。そして今、北原記念館の後援会室で、謝恩会に向けて最後の活動をしています。子供たちが校庭を走り回っている姿が見えるこの部屋から、最高の思い出に残る謝恩会にしようと思ひ心一つにして頑張っているところです。役員活動を通して貴重な体験をさせてもらったことは、とても大きな財産です。6年間本当にありがとうございました。

素敵な出会いをありがとう

中学校副会長 山本成実
中学入学の直前に五役のお話があり、小学校を卒業したばかりの娘からは、「またか、一体誰のための学校か」と抗議されました。しかし、高田先生の「学校は子どものためにあるのですよ」との一声で払拭され、私の五役三年間は始まりました。そしてあっという間に終わろうとしています。役員柄学校行事は殆ど参加させていただきました。毎年、どこか不安げでこちない雰囲気の入學式、三年間の充実感からか自信さえ溢れ出ている卒業式をみてきました。そして、卒業式には、こんなにも短期間で成長するのかと

感動し、毎年もらい泣きしておりました。そして三年間の私の収穫はなんとと言っても友だちが増えたことです。卒業式が終わったら、みんなとの温泉を楽しみに日々卒準のお仕事に励んでいます。東で関わった皆様、素敵な出会いをありがとうございました。

「卒業を迎えて」

高等専修副会長 大矢 田鶴子
高専に入学し思いがけなく後援会の一員としてお手伝いをさせて頂くことになり、時には荷が重く感じることもありましたが皆様の御協力をいただき何とか勤めさせて頂くことができました。後援会の活動を通して学年、園校を超えて多くの方と知り合えた事は私にとって何よりの喜びであり一生の財産となりました。息子が東学園に入学してから11年、あっという間に過ぎた思いです。子どもの成長とともに、学年が増すごとに学園をより身近に感じるようになりました。今、卒業を迎えるにあたり息子も私も本当にかげがえのない時間を東学園で過ごさせて頂けたと感謝しております。11年の間に色々な事が変わりましたが、東学園の良さを失うことなく、又新しいことにも挑戦し益々素晴らしい学園となりますよう心から願っております。

14 年間に感謝

高等専修むらさき会代表 小矢野 和子
息子が障害を持っている事を知った時の悲しみ、辛さ、毎日必死で戦って生活していた日々…。偶然、テレビで我が子に似た青い目の子供たちを見た時、画面に釘付けになった。それがボストン東スクールだった。

あれから14年、音に弱くて耳をふさぎ、新しい場所にも弱くて泣いていた息子、そんな息子を幼稚園の先生方は暖かく、しっかりと受け止め教育してくださった。そして小学校、行事の繰り返しで体験できる一貫教育のお陰で、次第に行事を緊張しながらも楽しめるようになった。拍手を頂く心地よさを知ったのだろう。1人1人に主役の場を頂き、練習を積んで、やる気にさせ、やり遂げたことで自信になる…。この繰り返しで気がつくど力がついていたように思う。そんな息子も今春、社会人となりレストランで働くことになった。高専では健常児の方たちから毎日刺激を頂き、友だちのことを気遣うようになった。先生方のサポートそしてお友だちのお陰です。東学園の14年間に心から感謝申し上げます。

むらさき新年会に参加して

むらさき会の臼井副会長が、挨拶で、「ちょうど東学園にお世話になり半分が過ぎました。息子が今後着実に成長していくのが楽しみです。」と話されていました。この会は、幼稚園から高等専修、そしてOBの保護者となりがりがある会です。そして新年会は、多くの親父や先生方が参加する会でもあります。普段はなかなか親交が無い方とも話ができて、先輩の保護者、他学年の先生と酒を酌み交わしながら子供たちの話しができます。オリン

ピックに例えると、まるで安藤美姫選手が荒川静香選手をお手本にしているかのように、将来、思春期を迎える自分の子供たちへの付き合い方、その時の親の苦悩、今現在私たちが直面している悩みへの対応等々…。今回は、シャッフルというテーマで、例年以上に学年、園校を超えた父兄や、先生方との話ができました。わが子それぞれの将来の金メダルを目指してがんばりましょう！ 小学校O

幼稚園発表会

2月5日、府中の森芸術劇場で幼稚園の発表会が行われました。入園した頃の、「ママ、ママ」と言って泣きながらバスに乗っていた子が、あんなに大きな舞台上で一生懸命演技している。そんな年少さんのびっくりするくらい成長した姿にうろてる。まぶしい照明、大勢の観客を目の前に、緊張しているはずなのに堂々と自信に満ちた演技をした年中さんの姿に胸がジーン。「忘れないよ ずっと笑顔の友を～」年長さん最後の音楽「ジュピター」。僕たち私たちは4月から小学生。東幼稚園で学んだ友だちを大切にすることを忘れずにがんばります！という決意が聞こえてくるようで、そんな年長さんの姿にもうだめ～。泣いちゃう～。そんな大感動の一日でした。

幼稚園K

小・中学校発表会

2月18日（土）小・中学校発表会が行われました。オーブニングの中学校ダンス部は、さすがと思わせる見事な踊りでうっとりさせられました。ダンスの部では、小学生は舞踊劇を学年ごとみんなが役になりきって踊り、中学生の「Feel the リズム」のワルツ・ロック・サンバ・タンゴ・和

とは違ったリズムを、軽快に、情熱的に、衣装も様々と私たちを楽しませてくれました。体育の部では、曲に合わせ、笛や太鼓の音だけで動く子供たちに、いつも関心してしまっています。音楽の部では、笑顔一杯の合唱や、緊張しながら吹いたり弾いたりしていた合奏の姿が印象的でした。また初の試みであった小学校吹奏楽部と中学校マーチングバンド部合同の演奏は、数少ない練習の中、気持ちを一つにできたのは素晴らしいと思います。毎年このことですが、今年もまた子供の一年の成長を感じ、子供の姿を見ながら感激、感涙しました。

小学校U

編集後記

今年も発表会にあわせて2月17日、ボストン東スクールから12名のお客様を迎えて、ウェルカムパーティーが開かれました。後援会、むらさき会の会長、副会長が司会やプレゼンターなどを務め、楽しく交流。それぞれが思いのこもったプレゼントと東に寄せる思いを交換。毎回青梅マラソンに出走する職員の方のケリーさん。ガーランド理事長ご一家、リトルフィールド校長先生に親の会の皆さん。北原記念館・体育館の落成と並び、創立者の意志を具現しつつ東は多様な出会いを紡いで未来へと進みます。

編集委員会（編集スタッフ）

- 久保 法子 (高等専修)
- 織井ひろみ (高等専修)
- 泉澤 直子 (中学校)
- 高橋あずさ (中学校)
- 渡部 志野 (小学校)
- 小林 信代 (小学校)
- 岡本 晴美 (幼稚園)
- 柴草 睦 (幼稚園)
- 北川久一郎 (小学校)
- 桑原 厚 (小学校)